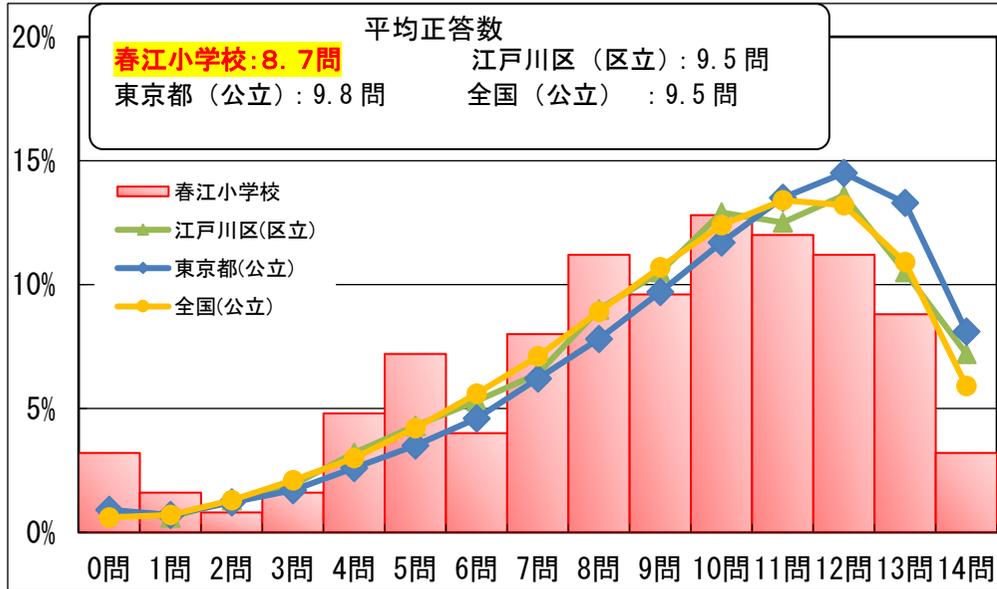


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 春江小学校

正答数分布



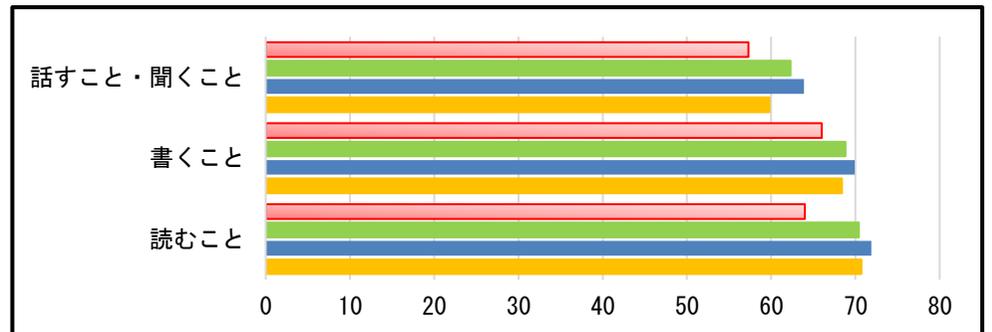
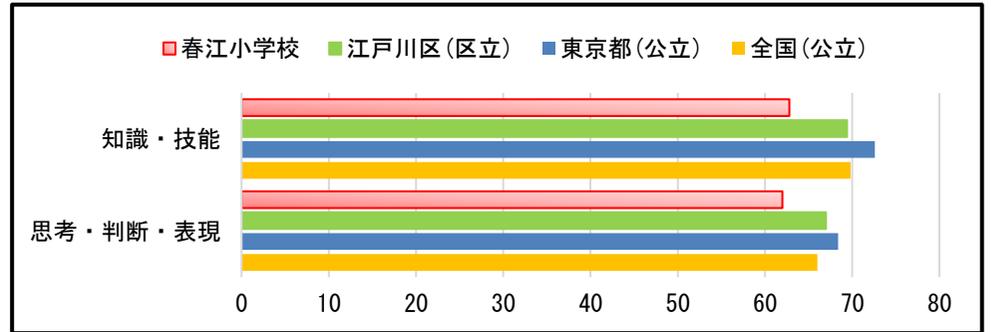
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
春江小学校	23.2	24.8	20.8	31.2
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

春江小学校	62%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	8ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

平均正答率で比べると、都の正答率70%に対し、本校は62%と8%下回る結果となった。四分位で見ると、AB層が48%、CD層が52%とほぼ半数で分かれているが、都のCD層の割合38.9%と比較すると13%余り、全国のCD層の割合44.2%と比較しても8%程度高くなっている。

観点で見ると、【読むこと】が都の平均正答率71.9%と比べ、64%と8%程度低い数値となっている。登場人物の心情や相互関係、物語の全体像をとらえる等、叙述をもとに想像したり考えたりすることに難しさを感じている児童が多い。まず、国語科だけでなく読書科も計画的に活用し、文章を読むことへの抵抗を減らしていく。また学習の中で友達と交流等の対話的な学習活動を行うようにし、自分の考えと友達の考えを比較させたり、友達の考えから自分の考えをもたせたりしていく。

漢字の習熟を含めた基礎基本の定着については、学校だけでなく家庭学習等でも取り組む機会を設け、定着を図る。